

福岡和白病院 5階病棟に入院された方で リハビリテーション治療を受けられた患者様へ

当院リハビリテーション科では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。

また、この研究は当院の臨床研究審査委員会の審査を受け、病院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	リハビリテーションセラピストが看護師と協働し、入院患者の夜間帯の日常生活動作に関わることによる日常生活動作能力および転倒・転落に対する効果検証
当院の研究責任者（所属）	山口 雄介（リハビリテーション科）
本研究の目的	急性期疾患により日常生活動作能力が低下した患者に対して、リハビリテーションセラピストが夜間介入を行うことによって得られる有用性を検討することを目的とします。
調査データ該当期間	2024年6月1日～2024年12月31日
研究方法	●調査の対象となる患者様● 上記期間に当院5階病棟に入院しリハビリテーション治療を受けた患者
	●使用するカルテ情報● ① 臨床所見（年齢、性別、身長、体重、疾患名、看護必要度） ② 転倒・転落の発生状況と転倒転落アセスメントスコア ③ リハビリテーション評価等
	●試料や情報の管理● 研究対象者の個人情報及びプライバシー保護に最大限の努力を払い、研究責任者等が研究で得られた情報を公表する際には、研究対象者が特定できないよう十分に配慮します。
個人情報の取り扱い	研究に利用する試料や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。当院の研究責任者は、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける情報も含めて、責任をもって適切に管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。 将来、この研究で得られた情報も別の研究に利用（二次利用）する可能性があります。その場合も個人を直ちに判別できる情報を出すことはありません。二次利用する場合は、その研究計画について改めて倫理審査委員会及び研究機関の長の承認を得て実施となり、その内容は参加機関のホームページ等で公開されます。
本研究の資金源・利益相反について	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	福岡和白病院 リハビリテーション科 電話：092-608-0001（代表） 研究責任者：山口 雄介